

手すり先行足場 初導入

一般住宅工事の安全対策

住まいのウチイケ（室蘭市八丁平、

内池秀光社長）は、八丁平で行つて
いる一般住宅工事に、施工者の安全
性が高まる「手すり先行工法足場」
を導入した。施工した足場工事のリ
プロ室蘭事業所（神代町、青柳伸吾
所長）によると、公共工事では一般
的だが一般住宅では珍しい。

手すり先行工法は、最上段の足場
を組む時、その下の段からまず伸縮
式の手すり部材を先に据え付けてか
ら、実際に足をのせる作業板を設置
する方式。作業板を付けてから手す
りを組む方式よりも施工者の安全性
が高い。

室蘭労基署によると、転落災害防

止へ2003年（平成15年）に先行

工法のガイドラインを策定し、普及
に着手。09年には労働安全衛生規則
の一部を改正し、転落対策の強化を
図つたこともあり、公共工事では一

般的になつてきている。

ただ、一般住宅の場合、メーカー
が足場施工部門まで持つていてるケ
ースが少なく、多くが足場会社に外
注しており、先行工法は経費がかさ
むことから、なかなか導入が進んで
いない実態があるという。

住まいのウチイケは労災防止対策
の一環として、リプロの先行工法の
提案を採用した。内池社長、青柳所
長は「一般住宅でも事故の可能性は
ゼロではないことから、より施工者
の安全な環境をつくり、建設現場の
安全性を高めていくため、取り組み
ました」と話す。

施工現場を視察した内池社長は
「うちとしても初めての導入ですが、
非常に安全な工法といつことが確認
できました。今後も現場での安全を
最優先に、積極的に活用していきた
い」と話している。（鞠子理人）



手すり先行工法による足場設置を視察する内池社長（左）